

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレシス相模原Ⅱ 新築工事	階数	地上14F
建設地	相模原市中央区相模原五丁目283番2 外	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年5月23日
敷地面積	1,406 m ²	作成者	株式会社 光和設計
建築面積	825 m ²	確認日	2016年5月23日
延床面積	8,568 m ²	確認者	株式会社 光和設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合		0
Q1 室内環境	建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(F☆☆☆☆)を床・壁・天井・天井裏で全て採用している。ホルムアルデヒド以外のVOCについては確認をしていない。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	断熱等級 3	LR3 敷地外環境 躯体材料の耐用年数: 劣化等級 3 ライフサイクルCO ₂ : 74%
Q2 サービス性能	バリアフリー新法の最低限のレベルを満たしている。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別可能	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される